

数学科 2 年

筆記用具と同じように学習道具として使う その2

担当 草場 博文


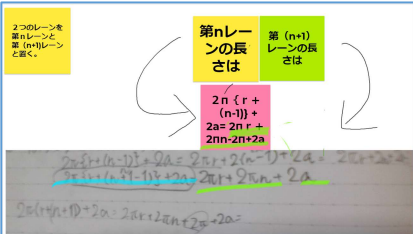
【このレポートの目標】

一人一台端末である Chromebook を、生徒が自らの目的に応じて自主的に使う事例を通して、学習道具として定着させる。

【 問 い 】

Chromebook を効果的な学習を生む道具としてどのように使えばよいか。

これまでの授業で行ってきたことのうち何を Chromebook に置き換えるとよいか

今回 ICT を活用した場面	従来の活動
<p>C1 発表や話し合い／C3 協働制作 Jamboard を利用したグループ学習</p>  	<p>ホワイトボードを活用したグループ活動</p> <p>【ICT 機器を活用する良さ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グループ協議の活動の記録をそれぞれのクラウドに保管できる。 ○話し合うときにそれぞれが自由な意見を自分で作成して貼り付けることができる。 ○意見を整理しながら班の意見としてまとめることができる。 <p>【改善すべき点と原因または改善の見通し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードを使用していた時に比べグループ活動の質が高くない。 <p>⇒操作技能の不足によるもの Jamboard の活用方法の不慣れ 時間がかかる</p> <p>⇒経験値をたかめる。 ホワイトボードとの併用 短い言葉で入力したあと並び替えをする。 意見を出し合う～整理・まとめの流れをつくる 意見を出し合うときは消さない 消去していくのは、まとめるとき</p>